



学校報
第14号

にこにこ きらきら ゆめにむかって

おともがわ

みんなで育む 豊かな心・健やかな体・確かな学力

令和6年度
大仙市立内小友小学校
令和6年7月12日

PTA学習参観（芸術鑑賞会）・学年懇談

～たくさんのご参加、ありがとうございました～

今週10日(水)に行われたPTAに際し、多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。今年の夏休み前のPTA学習参観では、サロンオーケストラエイト様をお招きし、本物のオーケストラに触れることができました。芸術鑑賞会は、子どもたちにとって非常に意義深い体験といわれています。実際に「本物」のアートに触れることで、「想像力が磨かれる」「心が癒やされる」「表現力が豊かになる」「美意識が高まる」等、様々な効果が得られると言われています。実際、オーケストラの演奏を肌で感じ取っている子どもたちの目は輝いておりました。右の写真は、内小友小学校の児童が指揮者となり、その指揮に合わせて演奏している様子です。

学年懇談においても、これまでの学級の様子や夏休みの生活等、様々な視点から話し合いがもたれました。夏休みに入ると保護者面談が計画されておりますので、そこでも学校での様子だけでなく、ご家庭の様子等も話題にして、子どもたちのよりよい成長へとつなげていくための有意義な面談にしていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いたします。



あさがお運動

～小中連携あいさつ運動～

「あさがお運動」は、大曲西中と大川西根小、本校の3校が連携して取り組んでいるあいさつ運動で、年5回計画されています。その1回目が先週5日(金)の朝に行われました。本校出身の中学生が来校し、内小っ子委員会のメンバーと一緒に元気にあいさつをしてくれました。

「あさがお」には、「**あ**いてより**さ**きに**お**っこう以外でも **お**きな声で」の意味が込められています。子どもたちが自ら進んで地域の方々にあいさつすることは、地域を一層明るく元気にするにつながると思います。この運動をきっかけに、子どもたちのあいさつがより一層よくなるよう、働きかけていきたいと思っております。



今週(7月8～12日)は 家庭学習強調週間

家庭学習については、春から各学級担任が児童一人一人の家庭学習ノートのチェック、アドバイスの記入、励ましの言葉等を記入しながら、内容が充実するように支援してきました。学校報第6号でも紹介しておりますが、校長も日替わりで全校児童のノートを見させていただいております。工夫されたノートや丁寧に書き込まれたノートに出会っています。家庭学習のより一層の充実を図るため、昨年度に引き続き「家庭学習強調週間」を設け、家庭学習の展示を行いました。PTAの際にご覧になってくださったことと思います。

子どもたちは、同学年や他学年のノートを見ることで、効果的な家庭学習の仕方や頑張っている友だちの姿等を家庭学習ノートから感じとってほしいと思っております。ご家庭でも、家庭学習について話題にさせていただけたら幸いです。



7月4日
新体カテスト

すこやかグループで新体カテスト

「新体カテスト」とは、スポーツ庁が「児童生徒の体力・運動能力の現状を把握し、体力の向上の成果や課題を捉えることで、学校体育に係る指導法の改善等を図ること」を目的に、毎年実施しているものです。

先週の4日(木)に、すこやかグループで実施した種目は、以下の4種類です。低学年の児童にとって、回数を数えたり記録したりすることには難しい面があるのですが、高学年の児童のサポートでスムーズに行うことができました。子どもたちは自分のめあてに向かって、各種目に対して最後まであきらめずに挑戦していました。



立ち幅跳び



長座体前屈



反復横跳び



上体起こし

7月5日
秋田県庁出前講座

クマの避難対策学習が実施されました

昨年度に引き続き、今年度もクマの目撃情報が寄せられております。昨年度からのこのような状況を鑑み、「クマの生態やクマについての情報を得ることを通して、自他の安全を守る気持ちを持ち、非常事態に対応できる態度やクマによる事故を防ぐための方法を身に付ける」ことをねらいとして、秋田県庁自然保護課の〇〇〇様を講師に招き、「クマの避難対策学習」を実施しました。クマの生態、クマによる事故に遭わないための対策、クマと遭遇してしまったときの行動、防御姿勢の練習など、真剣に学習に向かう子どもたちの姿が見られました。最後に、クマの毛皮等を実際に触ってみることも体験し、有意義な学びとなりました。是非ともご家庭でも話題にさせていただいたら幸いです。



防御姿勢の練習



クマの毛皮に触れている様子



今年度から通知表が変わります

今年度、大仙市教育委員会は統合型校務支援システム*の導入を進めており、その一環として通知表の様式が変更されることとなりました。そのことに伴い、**大曲西中学校区の3校(大曲西中学校、大川西根小学校、内小友小学校)は共通の取組として通知表の記載事項の見直しを図り、前期分の通信欄(学級担任から保護者へのコメント)をなくし、通信欄は後期に一本化**することといたしました。

このことを踏まえ、お子さんの日々の様子やその時々課題等に関しては、**夏休み中に実施する保護者面談等、時期を捉えた面談や電話連絡等**によって、学級担任から保護者の皆様へ直接お伝えし、**的確な情報伝達と対話的・建設的な話し合いを日々の指導・支援に生かす**とともに、**保護者と共通理解を図りながら、お子様の成長につなげたい**と考えています。

また、これまで返信の形で前期通知表へ保護者からのコメント記載をお願いしてまいりましたが、このことに伴い、**保護者からのコメントは不要**となります。

なお、後期(年度末)の通知表には従来どおりに通信欄を設け、1年間のお子様の頑張りや成長の様子を記載させていただきたいと思っております。何卒ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

※統合型校務支援システム：成績処理、出欠管理、健康診断表、学校事務など、学校で取り扱うデータを電子化して集約・統合した機能を有するシステムのこと